

RACING PROGRAM

東京競馬場・京都競馬場・新潟競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.4.27

JRA70周年記念 テレビ東京杯青葉賞 [GⅡ]
ユニコーンステークス [GⅢ]



未来へ、走り続ける。



JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

天皇賞(春) ライスシャワー

HERO IS COMING.

前日発売

天皇賞(春) [GⅠ]

第169回天皇賞(春)(GI)

3200m(芝・右・外)Aコース使用

発走15時40分
このカラー版出馬表の内容は4月26日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing horse names, jockeys, race results, and photos. Includes columns for horse number, name, jockey, and performance statistics.

(出走取消)

※ブレイクは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となり、昨年のJPNサラブレッドランキング(外国馬はワールドベストレースホースランキング)と本年度レーティング最高値のうち高い方を掲載しております。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

ライスシャワー

24,025票



1995年 天皇賞(春) (GI)

淀を愛したステイヤー

京都競馬場は通称「淀」とも呼ばれる。GI・3勝すべてを京都でマークし、「淀を愛したステイヤー」の異名を取った馬、それがライスシャワーだった。

最初のタイトルは菊花賞。皐月賞と日本ダービーを逃げ切った二冠馬ミホノブルポンの後ろで虎視眈々とレースを進めると、直線で交わして三冠達成を阻止。勝ちタイムは記録だった。

その次は翌年、1993年の天皇賞(春)。史上初の3連覇がかかっていた2歳上の菊花賞馬メジロマックイーンを2馬身半差で下し、またもや大記録の達成を阻止した。タイムはこれも記録。狙った相手をピンポイントで仕留める走りは「刺客」とも呼ばれた。

その後、ライスシャワーは長い不振に陥った。5歳暮れの有馬記念3着などはあったが、丸2年、走っても走っても勝利することができな

い。そして迎えたのが6歳の1995年の天皇賞(春)だった。

序盤は中団を進んだライスシャワーは、3コーナーの手前からロングスパートの奇襲をかけた。3コーナーに入る頃には早くも先頭に立ち、馬群を引き連れて直線を向くと、後続を引き離して粘り込む。最後は大外を追い込んできたステージチャンプとほとんど重なったのゴールとなったが、写真判定の結果、ライスシャワーがハナ差で勝利。まさに執念の復活劇だった。天皇賞(春)を連覇した馬は5頭いるが、1年空けて2度勝利した馬は、ライスシャワー以外にいない。

続いて出走した宝塚記念は、阪神・淡路大震災の影響で京都での施行となった。3コーナーで故障を発生したライスシャワーは、転倒して競走を中止。予後不良と診断された。

GI勝利だけでなく、その最期も京都で迎えたライスシャワー。淀を愛し、淀に散った孤高のステイヤーの魂は、京都競馬場に建立された記念碑の中に、今も安らかに眠っている。

第111回 天皇賞(春) (GI)

1995年4月23日 京都競馬場 3200m(芝・右・外) 曇・重 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	ライスシャワー	牡6	58	的場 均	飯塚 好次	3:19.9	④	7[4]1[1]
2	ステージチャンプ	牡5	58	蛸名 正義	矢野 進	ハナ	⑥	10[8]13[11]
3	ハギノリアルキング	牡5	58	武 豊	小林 稔	3/4	③	10[8]5[6]

第107回 天皇賞(春) (GI)

1993年4月25日 京都競馬場 3200m(芝・右・外) 晴・良 15頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	ライスシャワー	牡4	58	的場 均	飯塚 好次	3:17.1	②	6[5]4[2]
2	メジロマックイーン	牡6	58	武 豊	池江 泰郎	2 1/2	①	3[4]2[2]
3	メジロパーマー	牡6	58	山田 泰誠	大久保正陽	3/4	④	1[1]1[1]1

ライスシャワー Rice Shower

1989年3月5日生 牡 黒鹿毛

父:リアルシャダイ 母:ライラックポイント 母の父:マルゼンスキー

生産:登別・ユートピア牧場 馬主:栗林英雄氏

通算成績:25戦6勝

主な勝ち鞍

- 1995年 天皇賞(春) (GI)
- 1993年 天皇賞(春) (GI)、日経賞 (GI)
- 1992年 菊花賞 (GI)



1992年菊花賞 (GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
2位:ライスシャワー(24,025票)

1^位 **キタサンブラック** 32,357票



本競走は2年連続の優勝。2016年はカレンミロティックにハナ差で勝利し、17年はシウヴァルグランに1馬身1/4差、3分12秒5の記録勝ちを収めた。

3^位 **メジロマックイーン** 23,172票



1991、92年に本競走を制した90年代屈指のステイヤー。92年のレースはトウカイテイオーとの対決が大きな話題となったが、早めに抜け出す危ない走りでの勝利を飾った。

4^位 **ディープインパクト** 21,729票



2006年に単勝オッズ1.1倍の圧倒的人気を背負って出走したのが同馬。最後のコーナーで先頭に躍り出ると、そのまま3馬身半差で勝利を収めた。

5^位 **ゴールドシップ** 19,390票



2015年の優勝馬。過去2年は5、7着だったが、2番人気だった同年はロングスパートからフェイムゲームの追撃をクビ差封じての戴冠を果たした。



同一の競走馬が複数のレースで1位となった場合、その競走馬は最も多く票を獲得したレースの「メモリアルヒーロー」といたします。その他のレースにつきましては、2位以下となった競走馬から得票数の多い順に繰り上げとなります。(同一の競走馬が複数レースの「メモリアルヒーロー」となることはありません。)



特設サイト

❖2023 Winner❖
ジャスティンパレス

馬主：三木正浩氏
生産：安平・ノーザンファーム
騎手：C.ルメール
調教師：杉山晴紀



天皇賞(春)

連綿と続くステイヤーの系譜

天皇賞(春)とは

本競走は、1905年5月6日に横浜の日本レースクラブが、明治天皇から『菊花御紋付銀製花盛器』を下賜され創設した『エンペラーズカップ』を前身とする競走。1906年以降は7つの競馬倶楽部で『帝室御賞典競走』が実施されたが、1937年に日本競馬会が誕生したのを機に、『帝室御賞典競走』は春が阪神、秋が東京と、年2回東西で実施されることとなり、戦争で中断される1944年春まで続いた。戦後の1947年春に『平和賞』の名で復活。同年秋から現在の『天皇賞』に改称され、春は京都、秋は東京で実施されることとなった。



2022年優勝馬:
タイトルホルダー



2021年優勝馬:
ワールドプレミア

天皇賞(春)アラカルト

❖最多勝調教師❖

尾形藤吉 1954年ハクリヨウ、1960年クリペロ、
1963年コレヒサ、1966年ハクズイコウ

藤本富良 1956年メイザヒカリ、1961年ヤマニンモアー、
1965年アサホコ、1968年ヒカルタカイ

❖最多勝騎手❖武豊

1989年イナリワン、1990年スーパークリーク、
1991・1992年メジロマックイーン、1999年スペシャルウィーク
2006年ディーピンパクト、2016・2017年キタサンブラック

❖最多勝利種牡馬❖

サンデーサイレンス

1999年スペシャルウィーク、2002年マンハッタンカフェ、
2005年スズカマンボ、2006年ディーピンパクト
ステイゴールド

2013・2014年フェノメノ、2015年ゴールドシップ、
2018年レインボーライン

ディーピンパクト

2019・2020年フィエールマン

2021年ワールドプレミア、
2023年ジャスティンパレス

❖レースレコード❖3分12秒5

2017年キタサンブラック

❖最高払戻金額(単勝)❖15,960円

2012年ビートブラック、18頭中14番人気

❖最大着差❖大差

1968年ヒカルタカイ

❖最小着差❖ハナ

2020年フィエールマンなど5回



2017年キタサンブラック



2012年ビートブラック

JRA70年と天皇賞(春) そのあゆみ

1964 10th Anniversary



第49回天皇賞(春) 優勝馬 ヒカルポーラ

1974 20th Anniversary



第69回天皇賞(春) 優勝馬 タケホープ

1984 30th Anniversary



第89回天皇賞(春) 優勝馬 モンテファスト

1994 40th Anniversary



第109回天皇賞(春) 優勝馬 ビワハヤヒデ

2004 50th Anniversary



第129回天皇賞(春) 優勝馬 イングランディーレ

2014 60th Anniversary



第149回天皇賞(春) 優勝馬 フェノーメノ

2024 JRA 70th Anniversary

4月28日(日) 15時40分発走

第169回 天皇賞(春)(GI)

京都競馬場 3200m(芝・右・外) 4歳以上 除未出走馬および未勝利馬

未来へ、走り続ける。

70th
ANNIVERSARY